

店頭から
「こんにちほ」

第90回

チョコレートを食べてもつらい症状が出現 嗜好品などの摂取にはご注意を

あまり食べない嗜好品。そこに含まれる成分で、考えられない反応を示すことが。
マンゴー等にアレルギーがある私のような体質の人は、要注意！

血圧は上昇し手足は冷えて…

いつも最高血圧が120前後なのに、急に血圧が上がりました。頭が腫れたようにボーッと、生あくびが出る症状が、3週間以上も続いたのです。

朝は130でも、夕方には170から、最高で190までになりました。交感神経が興奮すると、血管が縮まり、血圧が上がるパターンです。

しゅそくけつれい
手足厥冷、つまり手足が冷えて、痛いくらいなのでした。

そこで、改善する漢方薬をのむと、冷たいのは改善されたのです。

しかし、血圧のパターンは改善されません。

生あくびがしょっちゅう出て、「おかしいな」と思っていたら、脳梗塞になったという人が身近にいたので、不安になりました。

そこで、脳のMRIを撮ってきました。結果は正常、脳梗塞の予兆も出ていないということで、ひと安心を。

「そういえば、最近、何か変わったものを食べなかったかな」

そう考えてみて、思いついたのが、1か月ほど前から食べ始めたカカオの濃度が90%のチョコレートでした。

食べるのをやめて治まる

考えました、「ひょっとしてカカオの成分のテオブロミンというアルカロイドが作用しているのかも」と。交感神経を興奮させたり、種々の作用があったりするのですが、血圧の上昇にもつながっている可能性があるかと疑った次第。

ともあれ、高血圧に効果のある漢方薬を服用してみたり、交感神経が高ぶっているのを和らげる漢方薬を寝る前にのんでみたりしても、変化はありませんでした。

夜中に何度も、目が覚めます。あきらめかけていたころ、薬学部の教授に、疑問を投げかけていた答えが返ってきました。こうです。

「高齢になると、テオフィリンの代謝が遅くなるものだ。

テオフィリンと、カカオに含まれるテオブロミンは、構造式が似ている。ということは、チョコレートが続けて食べていると、テオブ

ロミンが代謝されにくくなってしまう。結果、体内にたまっていき、予期しない症状が出てくる。

食べるのをやめても、急には治まらず、しばらく続くだろう」

さて、カカオチョコレートをやめて、1週間。あせらず様子を見ていたら、血圧が下がっていきましました。カカオの成分・テオブロミンが体内から消失したのでしょうか。すっかり元の血圧に。

「そんなバカな」と思われがちですが、私のような食品アレルギーのある場合には、要注意です。

もう1度食べて、再現するかどうか、試してみれば分かります。

しかし、もうあんな体験はしたくないので、やめているのです。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ
宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。

「梅雨のとき、足もとには気をつけてください」

